

研修プランB18

各教科等の授業づくりの方略を概念化シートで整理する

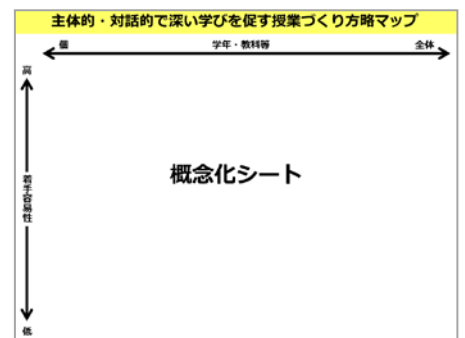
■目的 各教科等で実践している主体的・対話的で深い学びを促す授業づくりの方略を共有し、概念化シートを用いて整理することを通して、授業改善の充実について考える研修会です。

■対象 校内

■時間 45分

■形態 全体→グループ→全体→個→全体
※グループの分け方：教科等が混在した5人程度のグループを編成

- 準備物
- 概念化シートを印刷した模造紙（各グループに1枚）
 - 付箋（7.5cm×7.5cm、水色、一人5枚程度）
※サイズは一例
 - サインペン（黒色、一人1本）
 - フェルトペン（太字、各グループに3色程度）
 - 省察用の用紙 ※必要に応じて用意する。
様式は各校で定める。



●研修前

- 研修会の概要等について、予め紙面等で伝達し、研修の効率化を図る。
- 各教科等で行っている『主体的・対話的で深い学びを促す授業づくりの方略（以下、方略）』を、各自が整理しておく。

●研修

流れ	進め方	留意点等
1 研修の説明 【全体】（5分）	○目的と流れ、資料の概要について説明する。	○目的は上記「■目的」参照 ○流れは左欄「流れ」参照
2 方略を共有するための協議 【グループ】（25分） ※参考資料	○方略等を付箋に書く。 ○付箋を概念化シートに貼り、簡単に内容を説明する。 ○複数の事項のうち、方略等が共通する項目を類型としてまとめ、見出しをつける。 ○類型間の論理的な関連性を線や矢印で結び、どんな関連性を表	○グループの分け方は上記「■形態」参照 ○付箋には、次の内容をサインペンで書く。 ・教科等・学年・単元や題材 ・育成したい資質・能力 ・方略と意図 など ○どれも似ていない項目は無理にまとめず、そのままにしておく。 ○見出しはフェルトペンで書く。 ○関連性は「因果、類似、反対など」の視点で整理する。 ○線や矢印、関連性を表す言葉はフェルトペンで書

	すのかを書く。	く。
3 全体での共有 【全体】（5分）	○ギャラリーウォーク形式で行い、各グループでまとめた概念化シートを全員が自由に見て回る。	○共通点や相違点などに着目し、自由に見て回る。 ○共有を促進するために、付箋に気付きを書いて、概念化シートに貼っていくなどの工夫も考えられる。 ○思考を広げたり、深めたりしたい場合は、ワールドカフェ形式の交流も検討する。
4 省察 【個人】（5分）	○協議と共有を踏まえ、省察し、省察用の用紙に書く。	○省察用の用紙には、主体的・対話的で深い学びを促す授業改善の充実につなげる視点で、今後充実を図りたいこと、新たに取り入れてみたいことなどを書く。
5 まとめ 【全体】（5分）	○目的に照らして、まとめる。	○児童生徒の資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びを促す授業改善の充実を図ることの大切さを再度確認する。

●研修後

○授業改善の活性化につなげるために、研究主任等が各グループでまとめた概念化シートの内容を再整理したものを職員室等に掲示し、全教職員で共有を図ることも考えられる。

（参考資料）

※（概念化シート等の記入例）

